

平成30年 2月22日

足立区立扇小学校

校長 加納 和彦 様

足立区立扇小学校 開かれた学校づくり協議会

会長 福田 健次

平成29年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

平成29年度は、区の学力調査の結果がここ数年の中で一番良かったという報告があり、これまでの努力が成果を上げたことは大変喜ばしいことである。一方で、教員の授業力向上については大きな成果が得られていないようであり、今後ますます努力して欲しいと感じている。

開かれた学校づくり協議会としても正門前での挨拶活動を行っているが、自己評価書にもあるように人前で堂々と言葉を発することが苦手な子供が多いようである。学校・PTA・地域が一体となって挨拶運動を継続していく必要がある。扇小学校の「自己肯定感の醸成」の取組について、体験活動の様子などを参観し、今後の対策について学校と一緒に考えていきたい。

「小中連携」に関しては、江北中学校が統合して江北桜中学校となり、これまで通りの連携が行えるのか地域としても心配していたが、順調に進んでいるようである。今年度の実績をもとにしてさらに連携を強化し、同じ地域に住む子供たちの小中学校9年間の生活が充実することを期待している。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

・重点課題1について

今年度4月の学力調査の結果が、昨年度よりも20%向上したとの報告があった。その理由として、教員の授業力向上の取組みや補充学習教室の計画的・組織的な実践の成果だという説明があった。

また、読書活動に力を入れるために年間読書目標を2倍にしたそうだが、目標を達成した人数の割合が50%程度であることはやや残念である。高い目標を継続するのであれば、さらに方法を工夫して目標を達成する人数を増やして欲しい。

扇小学校では、30年度に「特別支援教室」が開設されると聞いたが、そだち指導のように個別に支援が必要な子供たちにどのような力を身につけさせていくのか、身に付けさせることができたのか今後の報告に期待している。

・重点課題2について

扇小学校に入ると校長室前の廊下の壁に「今月の俳句 校長賞」として、子供たちの作品が掲示されている。その前で立ち止まって、自分や友達のを眺めている子供も見かけた。何事をするにしても、子供たちが自信をもてるように取り組んで欲しい。

こちらから挨拶をしても下を向いたまま通り過ぎようとする子供もいる。低学年の方が大きな声で挨拶をしている傾向は今年も同じである。「あいさつ隊」として正門の所にいる時は比較的大きな声を出せるのだが、一人で登校する時にもしっかり挨拶できると良い。

落語の三遊亭圓窓師匠が何年間も落語教室をしてくれていることはありがたい。今後も積極的に専門家による楽しい授業や活動を続けて欲しい。また、保護者や地域の人材も活用して欲しい。

・重点課題3について

区内のどこの小学校でも「足立スタンダード」の授業をしていると聞いている。特に若い教員には効果が大きいそうだが、実際に授業力が向上しているのか分からない。学校公開週間に授業の様子を参観すると、保護者が見ているからなのか周りを気にしている子供もいるようである。授業で学んだことをしっかり理解するためには授業の技術も必要だと思うが、学級が安定するようにすることも重要だと感じる。

学校ではベテランの教員から若手が学ぶ取組があると聞いているが、若手教員には自分のもっている力を生かして元気に頑張ってもらいたい。最近、年度途中で担任が交代することが多いので、毎年心配しながら見守っている。教員が元気でなければ、元気な子供たちは育たないと思う。

・重点課題4について

昨年度まで扇小学校の子供の多くは江北中学校へ進学していた。統合してできた「江北桜中学校」は、新校舎が完成するまで旧上沼田中学校の校舎を使うことになっていて、扇小の子供たちにとっては通学が遠くなる。また、同じ地域にある高野小学校・江北小学校とはこれまでも連携していたが、改めて同じ「中学校のブロック」として、さらに親密な関係を築いて欲しい。地域としては、各自治会・町会の連携態勢に大きな変更はなく、これまで通り学校と共に子供を育てていきたい。

3. その他

扇小学校は創立50周年の準備に取りかかる時期に来ている。特に、40周年行事のことを踏まえて、これまでの歴史と伝統を尊重した運営、行事の計画・実施をして欲しい。若い教員が多い状態ではあるが、教職員全員がチームワークよく教育活動に取り組んで欲しい。

本校の開かれた学校づくり協議会の活動もすっかり定着してきた。これから、新しい取り組みも検討しながら継続・発展させていきたい。毎年行っている「扇っこまつり」は、PTAが主導権をもって子供たちのために盛り上げて欲しい。また、50周年に向けて、保護者や地域が協力して行う行事になるように積極的に呼びかけて欲しい。